

# わく楽通信



I 生きがいを見つける Information   C 心つながる Communication   T ともに学ぼう Technology

2月も寒いですね(^\_^)。熊本でも積雪で、雪景色を見る日が何度も！。2月は和暦で「如月」といいます。

「如月」という名前の由来には諸説あるそうですが、「衣」を「更に」「着る」月というところから「衣更着」と書く説が有力だそうです。

たしかに何枚も重ね着してしまう月ですね。

ご商売をされている方だと「にっばち」という言葉を聞かれたことがあると思います。

これは2月と8月に売り上げが落ちる、ということ。その理由として、年末から1月にかけて出費のかさむ行事（クリスマス・正月・忘年会・新年会など）が続き、その反動として2月は出費を抑えようとするため売り上げが落ちる、ということや、季節的に2月はとても寒いので外に出るのも控えたり、お客さまの購買意欲が下がること、などが理由として挙げられています。

でも今はインターネットでもお買い物ができる時代。寒い中外出しなくても、暖かい部屋でショッピングができるとなると、「にっばち」が関係なくなる業種もあるかもしれませんね。



## 今月の話題

### #関東雪結晶 プロジェクト

「関東甲信の皆さまにお願いします。雪が降ったら雪結晶の写真を撮ってください」  
—Twitter上に気象庁の荒木健太郎研究官がこんな呼び掛けをされています。  
これは「#関東雪結晶 プロジェクト」と呼ばれているとのこと。  
熊本の話しじゃないけど、SNSをうまく使くと、いろいろな研究にも役立つんですね。

### ——荒木さんのTwitterより——



荒木健太郎  
@arakencloud

雲研究者、気象庁気象研究所研究官、防災・減災を目標に、豪雨・豪雪・竜巻などをめたらす雲の仕組みを研究しています。著書『雲を愛する技術』  
[goo.gl/aPmNkG](https://goo.gl/aPmNkG) 『雲の中では何が起きているのか』  
[goo.gl/8XhjCf](https://goo.gl/8XhjCf) などなど。#関東雪結晶 #霜活 #露活 発信は個人の見解です

関東甲信の皆様にお願ひです。雪が降ったら雪結晶観測にご協力下さい。

スマホでズーム最大にして接写で撮れます。タグ付で撮影時刻・場所を書いてご投稿下さい。

雪結晶画像が首都圏降雪研究に必要です。ご協力よろしくお願ひします！

寄せられた雪の結晶写真を分析すると、予測が難しい首都圏の降雪現象の研究に役立つそうです。ピンボケの写真でも研究材料になるそうです。

先日の関東積雪では、荒木さんのTwitter上にたくさんの雪結晶の写真が投稿されたそう。



### 撮影のコツは

- (1) 背景は濃い色の生地で、予め外で冷やすこと
- (2) スマホカメラ最大ズームで接写すること
- (3) 上下に動かしてピントを合わせること

(4) 雪結晶が降ったらすぐに連写すること  
——など。投稿の際は、「#関東雪結晶」というタグをつけて、撮影時刻・場所を書いて投稿するよう呼び掛けています。

スマホで撮った雪結晶の写真が、気象研究に役立つ。スマホがあれば誰もが気軽に研究に協力できる時代ですね。

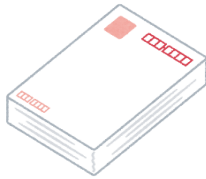


## 今月の質問

「住所録はどうやって整理すれば？」

皆さまはもう年賀状の整理はお済みですか？

年賀状のやり取りが終わった今が、住所録整理のチャンスです。



- 住所変更などが記載されているものはすぐに、使用した住所録データに反映させておきましょう。
- パソコンの住所録データは必ず「バックアップ」を取っておきましょう。バックアップとは、「別の場所に予備を取る」こと。パソコンにしか保存していないデータは、パソコンが故障したらもう二度と取り戻せません。
- あちこちに分散する連絡先は、クラウドを使って一元管理がおすすめです。パソコンの「住所録」にはあるけれど、スマホの「連絡先」にはない（年賀状だけのおつきあい）。または、スマホの「連絡先」は電話番号だけで、パソコンの「住所録」にはない（電話だけのおつきあい）というケースもあるでしょう。それらを1つにまとめて管理するのがおすすめです。
- 年賀状ソフトが提供するクラウドもありますが、Gメールをお持ちでしたら、Google 連絡先が無料で使えます。住所やメールアドレスをはじめ、メモ欄が自由に書いておけます。
- クラウドで管理するメリットは、パソコンからでも、タブレットからでも、スマホからでも見ることができます。住所録をスマホから見られたら、「それは自宅に帰ってパソコンを見ないとわからない」ということはありません。
- 紙の手帳を何度も書き換える代わりに、クラウドにある手帳をメンテナンスするという感覚です。今からクラウドに少しずつ慣れていくとよいでしょう。



## 用語辞典

### ◆フリック◆

先月号で広辞苑に追加された新語のうち、ITやスマホ関連の言葉として11個を記載したところ、「フリックって何ですか？」というご質問がありました。

「フリック (flick)」とは、「素早く動かす、弾く」という意味で、スマホやタブレットの画面を、指でさっとはじくような動作のことを言います。

スマホやタブレットなど、画面にタッチして操作する場合、この指の使い方、動かし方、力の入れ方によって、それぞれできることが変わってきます。

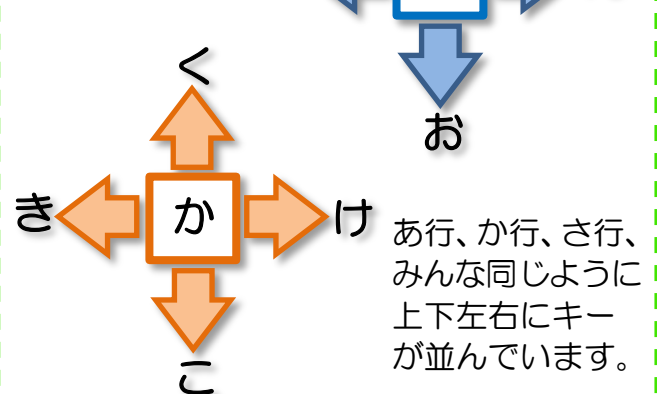
「フリック入力」とは指を素早く動かしながら入力する方法のこと。

携帯電話の時は「あ」のキーを1回押して「あ」、2回押して「い」、5回押して「お」ですね。

スマホでフリック入力を使うと、「あ」のキーを上下左右にフリック（指を軽く滑らして弾く）すると、

「い」「う」「え」「お」

が入力できます。



フリックを使えば、キーを何度も押さなくて済みます。最初は戸惑うかもしれませんが、スマホの方はフリック入力に慣れると文字は早く打てるようになります。ぜひ挑戦してみてくださいね。

